

平成30年度 第2回学校評価結果について

第2回学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。96%の保護者の方にご回答いただき、たくさんの貴重なご意見をいただきました。

◇保護者アンケート結果一覧

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
確かな学力	お子さんは、安心して、楽しく登校することができていますか。	48.8%	47.0%	3.0%	1.2%
	お子さんは、夢や目標をもって活動できていますか。	18.5%	55.7%	20.5%	3.4%
	お子さんは、学習したことを丁寧にノートに書いていますか。	21.9%	48.3%	21.3%	6.0%
	お子さんは、人の話をしっかりと聞いて理解できますか。	17.1%	60.1%	17.5%	4.2%
	お子さんは、学校で勉強している内容がよく分かっていますか。	19.2%	63.9%	12.1%	3.6%
	お子さんは、自分の思いや考えをすすんで話すことができますか。	18.3%	52.5%	25.6%	2.2%
	お子さんは、算数の授業に関心がありますか。	23.0%	50.4%	18.5%	5.2%
	お子さんは、難しいことでも失敗をおそれずに最後まで挑戦しようとしていますか。	14.1%	49.5%	29.6%	6.4%
	お子さんは、すすんで宿題に取り組めていますか。	28.5%	49.1%	17.4%	5.1%
	お子さんは、すすんで宿題以外の自主的な学習に取り組めていますか。	14.9%	35.8%	36.2%	12.3%
豊かな心	お子さんは、場に応じた気持ちのよいあいさつや返事ができますか。	17.8%	56.8%	21.2%	3.4%
	お子さんは、言葉づかいに気を付けていますか。	13.5%	54.5%	24.6%	6.5%
	学級活動や児童会活動、たてわり(フレンドリー)活動などを通じて、子どもの発想を生かした取組が進められていますか。	17.5%	59.4%	8.2%	0.6%
	お子さんは、友だちや周りの人と協力して課題を解決できますか。	19.7%	63.4%	7.6%	0.4%
健やかな体	お子さんは、人をいじめたり、なかまはずれにしたりしないように行動できますか。	43.8%	51.9%	1.4%	0.0%
	お子さんは、安全に気を付けて行動できますか。	29.8%	59.8%	6.8%	1.6%
	お子さんは、学校のきまりや社会のルールを守れていますか。	37.1%	55.8%	4.8%	1.0%
小中情一報貫教信育	学校だより、学級だより、学校ホームページ等を通じて、学校・担任からのメッセージや学校の様子がよく分かりますか。	22.7%	65.4%	9.1%	1.6%
	京都嵯峨学園の名称について、保護者の方や地域の方に知っていますか。	15.9%	63.6%	13.1%	2.2%
	京都嵯峨学園の教育活動について、情報提供がでていますか。	13.1%	56.7%	20.4%	2.0%
	小中の連携した教育活動として取り組めていますか。	11.7%	49.9%	19.1%	3.0%
	11.7% 49.9% 19.1% 3.0% 16.3%				

◇児童アンケート結果一覧

	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
確かな学力	学校せいかつはたのしいですか。	63.6%	28.4%	6.4%
	学校でがくしゅうすることはたのしいですか。	52.7%	36.4%	8.5%
	ゆめやもくひょうをもってがくしゅうできていますか。	51.9%	32.8%	11.7%
	ノートにべんきょうしたことやかんがえたことをいいねにかいしていますか。	50.3%	36.0%	11.3%
	先生やともだちの話をしっかりきくことができていますか。	55.8%	38.5%	5.0%
	学校でのがくしゅうはよくわかりますか。	59.0%	34.0%	5.8%
	じゅぎょううちゅうに、すすんで手をあげていますか。	38.9%	30.9%	22.8%
	グループ内じぶんのかんがえをするではなくしていますか。	54.0%	31.7%	10.7%
	算数のがくしゅうなどでかんがえることはたのしいですか。	57.8%	25.1%	11.8%
	むずかしいことでも、がんばってちょうどせんしていますか。	57.4%	31.9%	8.2%
豊かな心	しゅくだいは、まい日わすれずにしていますか。	65.7%	23.3%	7.4%
	しゅくだいとはべつに、家ですすんでがくしゅうをしていますか。	49.1%	28.1%	14.2%
	学校や家で、じぶんからすすんできもちのよいあいさつや返事をしていますか。	51.6%	37.3%	8.2%
	ともだちや家の人がかなしくなるような、ひどいことばづかいをしないようにきをつけていますか。	57.9%	34.0%	6.6%
	フレンドリーかつどうは、たのしいですか。	65.5%	22.2%	8.8%
健やかな体	みんなときようりょくして、いろいろことにとりくんでいますか。	59.3%	33.1%	6.6%
	人をいじめたり、なかまはずれにしたりしないようにきをつけていますか。	82.5%	15.9%	1.2%
	学校や家で、あんぜんにきをつけて行動していますか。	73.9%	23.3%	1.8%
情報発信	学校や家での「きまり」をまもっていますか。	58.1%	34.9%	6.0%
	学校でくばられた手紙やプリントをきちんとお家の人にみせていますか。	70.4%	22.3%	6.0%

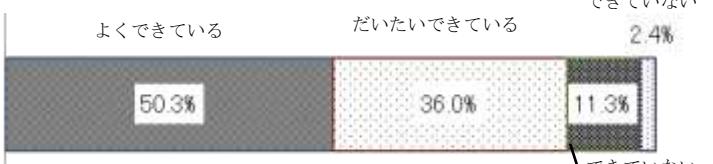
～記述欄より～ お子さんとの関わりの中で、お子さんが「成長した」「変わった」と思われるがあれば、お書きください。

- ◇先回りしてお手伝いしてくれることもあり、成長したなと感じます。
- ◇自分で考え行動することが増えてきました。
- ◇自分で設定した課題に取り組み、力を尽くすことができるようになりました。
- ◇宿題など集中して行える時が増えました。
- ◇先生の声かけもあり、宿題をきちんとするようになりました。
- ◇先生との関わりの中で、少しずつ自分からいろいろなことにチャレンジしようという気持ちが出てきました。
- ◇学習することへの意欲を自分の力で出せるようになってきました。
- ◇学校であったことをきちんと話してくれるの、様子がよくわかり安心しています。苦手なことでもやってみて壁を乗り越えると、また、やってみたいと意欲的な部分を見せてくれます。
- ◇親に対して反抗的な態度を取るのも成長の過程なのかなと思います。
- ◇何かもめごとがあった時などは、なぜそうなったのか、相手の感情と自分の感情をそれぞれ思いやって、付き合い方を学んでいるようです。
- ◇よく発表することができるようになりました。1年生の時には全く出来なかったことを思い出すと嬉しい限りです。
- ◇日々の生活の中で慈しみの行動や表情が見られようになってきました。
- ◇自分より小さい子のめんどうを見ようとする気持ちが見られるようになりました。
- ◇友達のことを思って「我慢したんだ。」みたいな話を聞くと成長したなと思います。

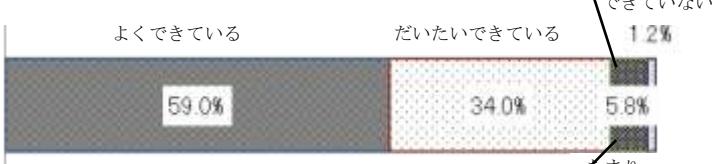
『確かな学力』の育成に向けて

★子どもが主体的に学ぶ楽しさやわかる喜びを味わうことができる取組を目指していきます。

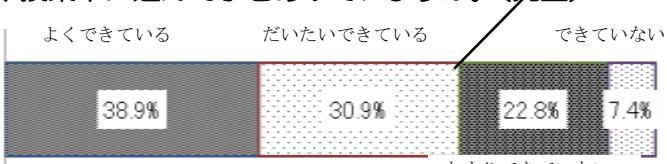
◇ノートに勉強したことや考えたことをていねいに書いていますか。(児童)



◇学校での学習はよくわかりますか。(児童)



◇授業中に進んで手をあげていますか。(児童)



児童のアンケートからもノート作りをがんばっている児童が多いことが分かります。また、学校での学習がよく分かることで答えていることもノート作りが身に付いてきたことと関係があると考えられます。

しかし、学習が分かっているにも関わらず、授業中に進んで手を挙げていない児童が多いことは課題の一つです。この課題については教職員が常に意識している課題の一つとも言えます。児童の中には、「きちんと説明できなくてはいけない。」「答えが合っていなくてはいけない。」「わからないから発表できない。」と不安に思うことが多いように感じます。しかし、教師が「途中までの説明でもよい。」「間違ってもよい。」「わからない時はわからないと言おう。」ということを授業の中で大事にすることで児童の発表の仕方が変わってきたいる部分もあります。実際、児童の一人が発表することで、その考えに付け足したり、他の考えを導き出せたりして授業が盛り上がることもあります。そのような教師による授業のコーディネートが児童の発表に、結び付いていくことも大きな課題解決の取組になると考えています。

家庭学習に係る項目で「宿題は毎日忘れずにしていますか」については約89%の児童ができていると答えていました。しかし、宿題以外の学習となると進んでできている児童が約77%と減っています。児童からの声でも、やはり自主学習になると何をすればよいのかわからないと困っている児童がいるようです。

3年生以上に配布しているステップアップ学習のヒントの使い方や困っている児童への教師の声かけ、掲示板を活用した様々な自主学習の紹介などの取組を継続して行っていくことが、必要であると感じました。

自主学習を通して、自分の興味のあることを深く学習することや、様々な調べ方ができるようになること、自分でノートにまとめる力を付けていってほしいと思っています。そのためにも、自主学習で困っている児童への十分な働きかけをさらに考えていきたいです。

学力向上プロジェクト（トライクプラン）や各種テストの結果を定期的に分析し、各学年で児童の課題をつかみ、授業を見直し、反復学習を行うなどPDCAサイクルを1年間続けてきました。また、学年ごとに基準を定めたノート検定を年2回行っています。学習の思考の流れがわかるノート、振り返って見た時に自分や友達の考えがわかるノート作りを目指しています。2月に行ったノート検定では、1回目よりもまとまったノートが多く合格する児童が増えました。今年度は、算数のノートを中心に行なってきましたが、このようなノート作りが他教科にも広がるよう、今後の取組の一つとして考えていきたいと思います。



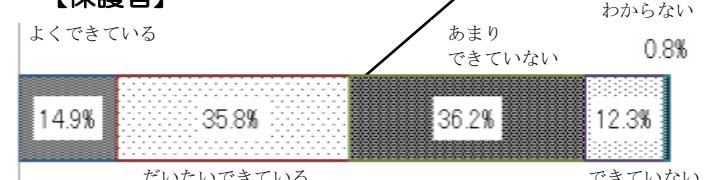
ノート検定では、一人ずつのノートを項目に乗っ取ってチェックしていきます。全部の項目がしっかりとできていると合格シールをノートに貼ります。

◇すすんで宿題以外の自主的な学習に取り組めていますか。

(児童)



【保護者】





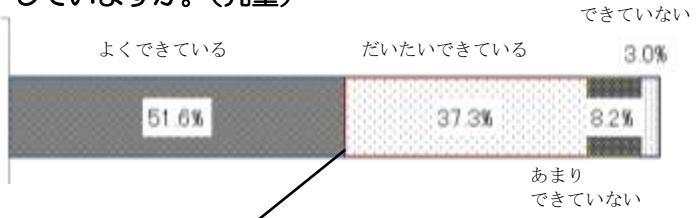
『豊かな心』の育成に向けて

★自分も相手も気持ちのよい3つの「あ」を意識できる子を目指します。

嵯峨小学校では、3つの「あ」を大切にしています。特にあいさつに関しては、できている児童とできない児童がいるため、まだまだ課題も多く今年度も力を入れてきました。

アンケート結果から「よくできている」と答えていている部分を見てみると、児童は51.6%で、保護者は17.8%という結果になりました。このような差が出てくるのは、あいさつの仕方にあるのではないかと思います。児童にとってはどんな形でも、あいさつをしていれば「よくできている」という意識になっているようです。そのため、小さい声のあいさつ、頭を下げるだけのあいさつになっている児童が多いと考えられます。そのよう状況から、朝会であいさつ名人を紹介したり、あいさつの気持ちよさを児童に伝えたりする取り組みを続け、さらに朝や帰りのあいさつだけでなく、学校内で出会った時には「こんなにちは」というあいさつも継続してきました。そんな成果もあり、少しずつですが気持ちの良いあいさつができる児童も増えてきています。まだまだ取り組まなければいけない課題ですが、大人が見本となって気持ちのよいあいさつをしていくことで、児童にもあいさつの気持ちよさを広めていきたいと思います。

◇すすんで気持ちの良いあいさつや返事をしていますか。(児童)



朝会で校長先生から「あいさつ」のお話を聞きました。気持ちの良いあいさつについて考えることができました。

【保護者】



嵯峨小学校の3つの『あ』

- あ あいさつ**
明るく元気なあいさつをしよう
- あ ありがとう**
感謝の心をまっすぐに伝えよう
- あ あとかたづけ**
後から使う人のことを考えよう



『健やかな体』の育成に向けて

★危険を予測し、適切な判断と行動ができる子を目指します。

児童の97.2%が「学校や家で安全に気を付けて行動している」と答えています。これは前回の学校評価結果でもお伝えしましたが、嵯峨の地域の皆様が子どもたちをしっかり見守り、交通安全や自転車の乗り方など安全について教えていただいているおかげです。しかし、児童の学校での様子を見ていると、廊下を走って滑って転んだ、遊びの中でふざけていたら友達にけがをさせてしまったというような事故が起きています。その時その時のちょっとした判断ミスが事故につながっているように思います。

また、避難訓練でもより実践的な内容を考えて取り組むことで、「判断一つで命が助かる」ということを意識できるようにしています。特に今年度は、火災が起こった時、煙が充満した部屋でどのように避難するかという体験ができ、一人一人が自分の命を守ることについて考えることができました。今年は6月の地震、7月の大震警報、9月の台風などの災害に見舞われました。その時の児童の様子を見ていても落ち着いて行動できるようになっていました。これからも守ってもらうだけでなく、「自分の命は自分で守る」そのためには、判断力が大切であることを児童に伝えていきたいです。





情報発信の充実に向けて



★受け手の「知りたい」を伝え、送り手の「伝えたい」を知らせる情報発信を目指します。

今年度も「学校だより」「学年だより」「ホームページ」などを活用して、学校の様子や児童の様子を伝えてきました。特に宿泊学習や学校行事の時には、たくさんの閲覧があり地域の方、お家の方の「子どもたちの様子を知りたい」という表れだと思います。様々な方法で情報を伝えることで、児童の学校生活に安心してもらい、家庭での会話の広がりのきっかけになればと考えています。しかし、保護者の方の30.3%が「京都嵯峨学園の教育活動について、情報提供ができていない・わからない」と答えています。確かに、「京都嵯峨学園」(小中一貫教育)についてはわかりにくい取組も多く、学校側からの発信がより大切になっていきます。前回のアンケートでも、「京都嵯峨学園」についての結果には課題がありました。そこで、12月から本館廊下前に掲示板を設け、「京都嵯峨学園」の取組について紹介しています。児童の様子はもちろん、嵯峨小学校の教育にも興味もっていただき、学校と地域が一体となって児童に関わっていきたいと思います。



小中一貫教育の充実について



★児童と生徒のかかわり合いが光る京都嵯峨学園の取組の実現を目指します。

情報発信の充実でも触れましたが、「京都嵯峨学園」(小中一貫教育)についての取組については、地域の方や保護者の方に十分発信できていない現状がありますが、今年度も教職員の合同研修や授業参観などで交流を深めました。また、小中連携として一緒にできることを話し合う中で、これまでも様々な取組を行ってきました。土曜学習として英語のコミュニケーション体験を合同で行ったり、小学生が中学生の部活動の練習に参加したり、毎月10日を「あいさつデー」として朝のあいさつ運動などを行ったりしています。

今年度の話し合いで、小学校三校と中学校が教室のデザインを揃えることで、中学校に入った時に少しでも児童の不安を解消できないかという意見が出ました。嵯峨小学校では、以前より取り組んできたことですが、この取組が中学校まで引き継がれることは大変うれしいことです。教室の環境を揃え、児童にとって安心できる環境にすることを「ユニバーサルデザイン」と言います。教師机やロッカーの配置、掲示物の使い方、給食当番表など全学級が揃えています。そうすることで、児童が進級した際も教室の環境が変わらず、戸惑うことなく過ごせています。教職員にとってもデザインが決まっていることで児童への指導を一貫して行うことができます。

今後も児童や生徒のために「何か連携できることはないか」と教職員がそれぞれの立場で考えています。地域の方、保護者の方にも「京都嵯峨学園」の取組について知つていただき、ご協力いただけるよう情報の発信に努めていきたいと考えています。



来年度以降も本校教育にご支援いただきますよう、お願ひいたします。

3月8日（金）に学校運営協議会を開催し、平成30年度第2回学校評価結果についての学校関係者評価をいただきました。今回のご意見をもとに本校の取組を点検し、次年度の学校運営に生かしていきたいと考えています。

学習指導

- ・児童が自分たちで意見を出したり、質問したりして進めていく授業がこれから大切になってくると思う。そのためにも授業改善の意識を先生方にももってもらい、取り組んでいってほしいと思っている。
- ・発表が少ないのはやはり自信がなく不安だからだと思う。様々な児童の意見を受け入れる授業にしていくことで、「自分の意見は認められるんだ」という欲求が満たされ、発表することに繋がるのではないかと思う。

3つの「あ」

- ・1年前よりも「あいさつ」をしてくる子どもたちが増えている。高学年の姿を見て育っていると感じる。
- ・「あいさつ」から会話につながると思う。そんな楽しく人と関われる「あいさつ」をしてほしい。
- ・地域の行事の際に、死角になっている場所に食べ物の容器等がポイ捨てされていた。マナーを守らなければいけないという雰囲気を大人が作ることも必要だと思う。

安全な行動

- ・早く学校に来たいとはやる気持ちの子どもがいる班は、集団登校の際に低学年を待たずに、先に行ってしまっている場面を見かける。低学年に合わせて歩いてあげることや待ってあげられるような高学年になってほしい。
- ・避難訓練の煙体験等、実体験は大切だと思う。